

クマを狩猟しないでください！



山や里にいても有害だと殺され、
山奥に潜んでいても狩猟される。
僕たちはどこにいればいいの？

人間は、クマたちが造る保水力豊かで災害に強い森の恩恵を受けています。

クマには奥山の復元が必要！クマ被害は、電気柵で完全に防げます。

ハンターの皆様へ

①今年46頭有害駆除済、狩猟必要なし

兵庫県は、兵庫県森林動物研究センターの研究者が出した県内クマが爆発増加して918頭という計算を鵜呑みにしてか、2018年度、山の中に2379基のクマ捕殺罠を仕掛け、誘引剤で遠くのクマまで誘引して9月末までに前代未聞46頭ものクマを無差別に大量駆除しました。主に精神被害名目です。奥山生息地を失っている兵庫県のクマが本当に爆発増加などできるのでしょうか。

猟歴数十年の地元猟師の中には、感覚として今年918頭なら昔も918頭だ。この25年間にクマ数が15倍に増加したという若い研究者の発表には笑ってしまうという方々も結構おられます。

クマは繁殖力も弱く、生息数も被害額もシカやイノシシと比べるとほんのわずかで、絶滅しやすい動物です。すでに人間を十分恐れており、追い上げ効果など疑問です。狩猟の必要なし。

②クマ狩猟は危険、県は無責任過ぎる

東北のマタギでさえ先輩に付いて何年も経験し、やっとクマを撃てるようになるのです。それでもクマ狩猟中の事故は、後を絶ちません。クマ狩猟に慣れていないハンターたちに1時間の講義だけでクマ狩猟を勧める兵庫県は、本当に無責任です。銃弾を浴びた半矢グマが反撃に転じたり街に出たりすると、死傷者が出ます。重大責任を負うのは狩猟しようとしたあなたです。

地元の猟師たちの中には、地元は迷惑だと県のクマ狩猟奨励政策に強く反対している方々もおられます。自分たちはクマ狩猟の怖さを知っているのでクマを撃つ気など全くないが、都会のハンターは安易にクマを狩猟しようとして必ず重大事故を起こすだろうと指摘されています。



一般財団法人 日本熊森協会本部

本部事務局 (10:00~18:00 水日祝休) 〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4

Tel : 0798-22-4190 Fax : 0798-22-4196 E-mail : contact@kumamori.org